

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第189号	氏名	實藤恭子
学位審査委員	主査 戸田一雄 副査 藤原 卓 副査 村田比呂司		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、歯根膜感覚が摂食機能に与える影響を検索した研究として、そのオリジナリティならびに重要性は非常に高く、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>この種の研究成果を左右すると考えられる顎運動測定時の誤差を可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果から、正常な咀嚼機能の獲得には、適切な感覚体験と学習の過程が必要であり、歯根膜からの感覚入力もその一端を担っていることを明らかにした。よって、今後の顎運動疾患の病態発症機構解明のために大いに貢献することが期待される。</p> <p>以上のように本論文は神経生理学的・矯正学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			